最終号　発行日　令和5年3月10日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南高校 探究・SSH 通信

◇ 2・3学期の活動 ～2 年次～

２年次ではまず、各自が進路に関連する課題を設定しました。次に、設定した課題に関する情報収集や整理・分析等を行い、内容をスライドにまとめました。スライド作成と並行して、「青森県出前トーク」や、「高校生のためのココロとカラダ応援セミナー」を実施しました。生徒は、各自の進路に関連のある分野の専門家の講話を聞き、自己の設定した課題に対する理解を深めました。

現在は、次年度の発表会に向け、スライドの修正や発表原稿の作成に取り組んでいます。

9/22(木)、10/6(木)・・・青森県出前トーク

【9/22】３つの講座を実施

① 一緒に考えよう！包括ケアシステムを基盤とした「青森県型地域共生社会」のこと
参加生徒：35人

② 県の特産野菜日本一 「ナガイモ」、「ニンニク」の技術あれこれ
参加生徒：7人

③ インフラってなに？
参加生徒：10人

【10/6】2つの講座を実施

① 福祉のしごと“あれこれ”を紹介します！
参加生徒：15人

② 情報通信技術を活用した製品開発
参加生徒：16人

10/26(木)・・・高校生のココロとカラダ応援セミナー（株式会社明治主催）

- やってみよう！ SDGs

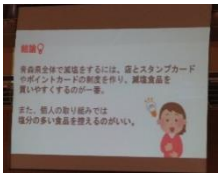
参加生徒：22人

＜ 高校生のココロとカラダ応援セミナーの様子＞

◇ 2･3学期の活動 ～1年次～

１年次ではまず、各自の興味・関心を調査し、クラスごとに 10～12 のグループを作成しました。作成したグループごとに課題を決め、グループで１つのスライドを作成しました。２月にクラス内発表を行い、代表グループを決定し、３月２日(木)に年次全体の発表を行いました。

HR	タイトル
11HR	人はどんな絵に魅力を感じるのか
12HR	どうしたら減塩できる？
13HR	宗教ごとの相違点とその根拠
14HR	多種多様な教育環境
15HR	どうしたら医療従事者の数が増えるのか
16HR	スマートな農業



◇ サイエンス指導部より

８月２４日に、新しい ALT のアレックス（**アレクサンダー・シャッカ**）先生が赴任なさいました。これからよろしくお願いします。

◇ 7年間の研究指定に幕 ～SSH 終了のお知らせ～

平成 28 年度に文部科学省から研究指定を受けて以来、ＳＳＨ(スーパーサイエンスハイスクール)の特色ある授業や行事を実施してまいりましたが、ＳＳＨ事業は令和５年３月末をもってすべて終了となりました。これまでに本校ＳＳＨコースを巣立っていった卒業生は２００名を数えます。科学や工学などの諸分野で活躍する人材に育っていくことを楽しみにしています。

本校や全国のＳＳＨ校で行われてきた探究活動や課題研究は、ＳＳＨ校だけでなく多くの高校で取り組まれるようになりました。青森県のすべての公立高校では「あおもり創造学」という形で地域に関する探究活動が始まっています。本校でも引き続き大学や地域の研究機関等と連携し、探究活動の充実を図っていきたいと考えております。

これまで本校のＳＳＨ事業にご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。